

研究種目：基盤研究（B）
研究期間：2007 ～2010
課題番号：19390567
研究課題名（和文）
統合失調症を持つ人の妊娠・出産・子育てへの看護支援プログラム構築に関する研究
研究課題名（英文）A Study into Nursing Care Program for Schizophrenic People during Pregnancy, Delivery, and Parenting.
研究代表者
澤田いずみ（SAWADA IZUMI）
札幌医科大学保健医療学部・准教授
研究者番号：50285011

研究代表者の専門分野：精神看護学

科研費の分科・細目：看護学・地域・老年看護学

キーワード：(1) 統合失調症、(2) 妊娠・出産、(3) 子育て、(4) 看護、(5) 内容分析、(6) プログラム

1. 研究計画の概要

統合失調症をもつ人の妊娠・出産・子育てに必要とされる看護支援を明らかにし、看護支援のガイドラインと当事者への看護支援プログラムを開発すること。この研究を通じて以下のことを段階的に明らかにする。

- (1) 統合失調症を持つ人の子育てへの先駆的実践の実際についてフィールドワークを行う。
- (2) 統合失調症を持つ人の出産・子育ての支援に関わった看護職の支援の実際と課題を明らかにする。
- (3) 統合失調症を持ち出産・子育てをしている人の体験と支援ニーズを明らかにする。
- (4) 以上の結果をもとに、統合失調症をもつ人の妊娠・出産・乳児期における子育てに関する看護職のガイドラインと親向けの支援プログラムを開発する。

2. 研究の進捗状況

(1) フィールドワーク

浦河町の精神障害者共同作業所ベテルと浦河日赤病院デイケアへの継続的なフィールドワークにより、「当事者研究」、当事者参加型の事例検討会「応援ミーティング」、子育てに悩む人のデイケアについての実際を学び、当事者の苦労を奪わない支援者の姿勢と、多層的・多面的・継続的支援のあり方について基本的知見を得た。

(2) 看護職者への質問紙調査・面接調査
質問紙調査は①道内 24 か所の総合病院の精

神科・産科に勤務する看護職スタッフ 744 名、②道内 30 保健所で母子保健・精神保健福祉活動を担当する保健師 232 名、③道内 50 か所の北海道総合在宅ケア事業団訪問看護ステーションの看護職スタッフ 104 名、④上記機関の当該部門の責任者 129 名に郵送調査を行い看護職スタッフから 574 部、看護管理者から 73 部の回答を得た。分析の結果、看護職の 3 割に支援経験があり、このうち約 8 割が困難事例を有していた。背景には、コミュニケーション、病状管理、家族調整、安全な子育ての実施の困難さと、他機関との連携、特に精神科と他機関の連携に課題が認められた。

面接調査は合計 24 名（看護師 7 名、保健師 10 名、助産師 7 名）に実施し、分析を終えている。この結果、多くの事例が妊娠に伴う投薬の減量により症状悪化を呈したが、出産後は投薬とともに沈静し、地域機関との連携により、その家族なりの子育てスタイルが確立されていることが明らかになった。しかし、夫婦関係の未成熟や病気の未告知など家族基盤の脆弱さ、人との繋がりにくさなど、疾病そのものだけではない育児における困難性が示され、継続的・多面的・多層的支援と連携システムを構築する必要があることが示唆された。

(3) 当事者への面接調査

3 名の対象者について病状や家族状況が変動する中、信頼関係の成立を図りつつ、現在調整中である。

3. 現在までの達成度

(1) フィールドワーク：3年間にわたり継続的に見学活動を実施できていることから②おおむね順調に進展していると評価する。

(2) 看護職者への質問紙調査と面接調査：分析を終え、面接調査に関する報告を残す段階であることから②おおむね順調に進展していると評価する。

(3) 当事者への面接調査：当事者への面接調査のために、面談を通しての関係作りを行っており、近く面接実施予定であることから、③やや遅れていると評価する。

4. 今後の研究の推進方策

看護職者の面接調査の対象者数を増やしつつ、当事者面接を行う。当事者への面接が難しい場合はその家族を対象とした面接調査を行う予定である。これらの結果をもとに、必要とされる看護支援プログラムを明らかにする予定である。また、それらを周知するためにリーフレット等を作成する。

それぞれの成果については、日本精神保健看護学会、日本地域看護学会、日本在宅ケア学会、日本母性衛生学会、国際女性心身医学界で報告予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計1件)

澤田いずみ、吉野淳一、今野美紀、高橋由美子、丸山知子、宮島直子、平塚志保、影山セツ子：「統合失調症を持つ人の妊娠・出産・子育てに対する看護職者のケア経験と認識に関する調査」. 第14回日本子どもの虐待防止学会. 2008年12月14日. 広島市